

板橋区労連



板橋区労働組合連合会
〒174-0053板橋区清水町70-10
TEL 03-3964-9351
FAX 03-3964-9352

未来(あす)を切り開く一歩をみんなで!

一致する要求・課題で共同したたかいたかいを!



広瀬議長のあいさつ

総選挙では、国民の怒りと恨みが閉塞感として現れた。民主主義の成熟は、政党が切磋琢磨していかなければならない。二大政党をしっかりと見据えていく第三局の存在が必要。防衛省の毎年9億円の米軍高速料金は、米兵の休日のレジャーで使う高速料金まで負担していると会計検査院が改善勧告した。今年3回目の政党助成金が各党に配分された。総額は319億円におよぶ。民主党が「国民生活第一」と言うなら、真つ先に政党助成金を廃止すべきです。秋のたかいたかいは、労働者派遣法抜本改正、後期高齢者医療制度の廃止、消費税増税反対を重点課題に世論と運動を強化しましょう。

代議員の発言要旨

都教組板橋支部

立花 健雄代議員



歴史的な政権交代は、高校授業料の無料化や全国学力テスト

の中止など、私たちの20年間の運動と要求が一定反映されている。30人学級など一層、署名運動を強化したい。主任教員制度が導入されたがひるまず、運動の手は緩めない。

グリーンキャブ労組板橋支部

佐藤 英夫代議員



走行距離1日355キロなど法律で決まったことを無視し、KMタクシーが免

公務公共一般労組板橋支部

熊谷 由紀枝代議員



運動の基本は、非正規労働者の処遇改善である。年

収200万円以下のワーキングプアは1000万人を超え、私もその一人。教育の格差が広がり、私の学校も50人の職員中、半分が非常勤。一時金も退職金も昇給もない。せつかく仕事に慣れてきたのに解雇される。これでは労働者のバーゲンセールです。

福祉保育労組板橋支部

鈴木 やす代議員



全国で待機児をなくす運動がされているが、子供にしわ寄せがあり、日本の未来と私たちの老後を担う子供たちの将来に不安を感じる。安上がりでお金をかけない保育行政に異議あり。子供の成長発達を根本的に破壊する国・区に対して運動を強化する。



議長団 宇野さん(養育院)大滝さん(区職労)

10月25日(日)、板橋区労連第58回定期大会が「なくせ格差と貧困、不況打開、守ろう憲法」というテーマで「のちのちのち」のスローガンのもと板橋グリーンホールにおいて開催されました。来賓を代表して、東京地評伊藤潤一議長、日本共産党ふるだて都議から連帯と激励の挨拶を受けました。続いて、船木事務局長より共同闘争をはじめとした、この一年間の闘い・主な争議の動向・

討論のまとめ 船木事務局長

今日の情勢の特徴・運動の基調・基本的要求と課題などの一号議案。菊田会計より決算・予算案が提案され午後からの討論を呼びかけました。午後は、全動労争議団の菊田さん、JMIU NCR支部上野さん、JMIU NCR支部上野さんからの訴えと、葉書イレッサ弁護団白鳥弁護士、写真展「水俣を見た7人の写真家たち」から田中さん、いたばし九条の会から小林さんからの要請と訴えの後、13名の代議員が討論に参加しました。

全ての発言が議案書を強化・補正するもので積極的な討論に感謝。年金問題は、他人事ではなく多くの人に広める。ハイタク交流な職場実態は、他の民間組合も同じで、経営を潰さない闘いが必要。政治や行政の問題悪化は、貧困が拡大している子供をめぐる状況を写す鏡であり組合の原点が平和。憲法と平和を生活に根付かせる。これを曲げるものは、断固闘つ。印刷関係の運動を、どう地域で具体化するか、地域と産別が手を結んで情報を発信していきたい。野田市の公契約条例を手本に運動で自治体を変えていく。また、来年の参議院選挙とその後を首長選挙で住民のための首長を選びたい。



板橋区労連が多くの参加組合や産別と手を結んで、引き続き運動を強化する決意を表明しました。

JMIUユニオン光学支部
田中 一夫代議員



一昨年以来の売り上げ不振により倒産の危機にある。雇用助成金を活用しているが勤務日も減らされ、給料も分割払いとなり生活できない。正念場を向かえる企業再建闘争に全力をあげる。

国労新橋支部板橋分会
岡田 直之代議員



1047名の採用差別事件で各政党に働きかけて政治解決を求める。何としても裁判で水準を引き上げて和解交渉を有利にしたい。利益第一主義のJRの状況は、板橋駅では17名中6名が非正規。国労組織は、平均年齢50歳で組合員も少ないが若い人と交流して組織強化をしたい。

板橋区職労
山本 はるみ代議員



子供たちの成長発達には素晴らしい一層子供たちの未来のために公立保育を存続させたい。23区中2番目に多い待機児がいる。このままの計画では8年間で7園なくなり45園中37園になる。廃園

された保育園では1年間で5人の先生が辞めた。保護者も保育者も安心して働き続けられる保育園をめざす。

全印総連凸版印刷労組
河原井 修代議員



印刷関連の町の経営者の要求と悩みを聞いて歩いた。圧倒的に中小零細企業で労働者の生活も厳しい。印刷労働者は36業種中36番目で一番賃金が低く年収200万円。労働者の生活を守るためにも、制度として公契約条例が必要。引き続き区労連とともに運動を強化したい。

建交労豊島運送支部
金 総偉代議員



職場では経営危機を打開するために、組合員の生活は非常に苦しいが断腸の思いで賃金カットに応じた。今日の発言は「構造改革」規制緩和でつながっている。これは、長い間続いた政権政党が「戦争する国づくり」に奔走した結果である。憲法と民主主義を守るためにも安保条約を廃棄しよう。そして雇用や賃金を守るためにたたかう。

都庁職養育院支部
岡地 博美大代議員



豊島病院の公社化反対運動の協力に感謝。発足した医療センターでは550人の減員政策と中期計画で赤字をだしている。利用者負担の増は表面化していないが差額ベット代や駐車場料金、短期入院など採算性を求めることにつながる。直営に戻す闘いを進める。

板橋区職労
加藤 哲夫代議員



公務員は秋闘で賃金闘争がはじまった。史上最悪な18万3千円のマイナス勧告。区の福祉事務所の人員問題は深刻で1500人の生活保護者が増え、ケースワーカーを20人増やさないと対応できない。ケースワーカーは受給者87名の基準があるが板橋では一人100人以上受け持っている。

年金者組合板橋支部
高原 正治代議員



消えた年金問題や年金需給年齢の問題など制度の改善により現役の方

にもっと関心を持ってもらうために年金者組合に加入してほしい。また、後期高齢者医療制度や介護保険、住民税まで年金から天引きされてしまう。知って、わかって、宣伝しよう。

都教組板橋支部
立花 健雄代議員



危険な教科書は採択されていない。また、教師の期限付き採用や任用制度により教育現場の荒廃が心配されている。全国学力テストや教員免許更新制度が廃止ではなく中止になる模様。夏休みが5日間短縮され、具体的に子供たち活動の場が奪われている。



最後に、「団結ガンパロー」で大会の全日程を終えました

今大会で退任された役員の方々に
長い間お疲れ様でした

- 斉藤 孝一さん (都教組板橋支部)
- 平賀 三枝子さん (公務公共一般板橋支部)
- 金田 久美子さん (あすなる保育園労組)



平賀さん



斉藤さん



金田さん

郵産労の仲間から年賀状を買いましょう!

お住まいまたは、組合の住所からお選び下さい。

- 郵産労板橋支部 (〒173)
組合事務所 電話・FAX (5375)8228
- 郵産労板橋北支部 (〒174, 175)
組合事務所 電話・FAX (3558)9249

〔お問い合わせ〕担当者 郵産労板橋北支部 阿部
携帯 090-4016-3841

